

率先しよう
LEAD THE WAY

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin



RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881

例会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大阪 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL (072) 620-2121

会長/中西 勝 幹事/辰巳克平 会報委員長/野田征夫
委員/吉田 明、黒田悦男

姉妹クラブ: 台北 西北区 扶輪社 1967年6月7日締結
双子クラブ: インドネシア・チネレRC・ジョグジャカルタRC 2004年7月19日締結

No. 38 平成19年5月9日

本日の卓話

5月9日(水)
「ロータリーの想い出」
橋本 淳会員

出席報告

第2326回例会				前々回	
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
27(8)	14	5	73.68%	0	100%

例会記録

第2326回例会 4月25日(水)雨
ロータリーソング「四つのテスト」斉唱
ゲストスピーカーご紹介
木村芳樹様(ロータリーの友地区委員)



会長の時間

中西 勝会長

4月も最終例会となりました。4月は雑誌月間です。本日はロータリーの友地区委員の木村芳樹様をゲストスピーカとしてお迎えし、「ロータリー雑誌月間に因んで」の卓話をさせていただきます。木村様後ほどよろしくお願ひいたします。

昨日は茨木ローターアクトクラブの例会に出席してきました。

茨木RACも会員減少を心配していましたが、新入会員の増強に努め、会員が増えてきています。会員のなかで2名の方が長期欠席していると聞いていますが、昨日は8名の会員が出席していました。長らく6名以下の出席会員の例会にしか出たことがなかったので、以前より活気のある例会に感じられました。

また、例会の内容も昨日は大変良かったと思ひました。

少し例会の一部を紹介させていただきますと、

メインプログラムは専門知識委員会が担当で、以前の例会で発表された「経皮毒」の復習をすることから始まりました。「経皮毒」とは、皮膚を通して体内に入る毒のことをいいますが、口から入る毒の場合は体内の臓器で90%体外に排出されるようですが、経皮毒は体外に排出されるのは、わずか10%程度しかないとのことや、体のどの部分の皮膚かによって毒の吸収率が異なるようで、腕の部分からの吸収率を(1)としたとき、性器からは(42)、ほお(13)、頭皮(3.5)、手のひら(0.83)、足の裏(0.14)などと教えてもらいました。

次に、化粧品や日用品の開発に動物実験をすることを禁止することが世界の流れになってきているそうです。PEACE WALK for ANIMALSという街頭行進イベントが昨年東京と大阪で行われたそうで、今年も、10/2東京、10/3大阪、のほか、今年名古屋も10/9に行われるとのことでした。

そのほか、「環境ホルモン」についても学習して発表してくれました。

私は、大変有意義なRACの例会に出席できたと思いました。

多田会員も出席されていました。そして、大変有意義な例会であったと講評でも話されました。

茨木3RCが提唱してできた茨木RACに皆様のあたたかいご支援、ご協力をお願いいたします。



幹事報告

辰巳克平幹事

1、RI及び2660地区連絡事項

- 1) 地区協議会参加のお礼状
- 2) ロータリーワールド4月

2、茨木市、他RCよりの依頼事項

- 1) 大阪府環境保全活動補助金募集の案内(上限30万円の補助をする制度)
- 2) 不法屋外広告物等撤去対策協議会総会の案内 5/8(火)
- 3) 国際親善都市協会理事会並びに定期総会の案内 5/12(土)
- 4) 千里メイプルRCより会報

3、その他

- 1) 5月2日のクラブ例会は休会です。
- 2) 岡野会員より物品寄付の申し出がありましたので、5月13日からのインドネシア訪問の際に持参し、インドネシアの子供たちに使ってもらおうと思います。

卓話

「雑誌月間に因んで」

RI 第2660地区ロータリーの友地区委員
木村芳樹氏

ロータリーの雑誌「ザ・ロータリアン」について

「もし、神の摂理によって、私がどこかのコロシアムの舞台に立たされて、皆さんと向かい合い、瞬時のためらいも許されず、あらかぎりの声で何か一言、言えと告げられたら、『寛容』と大声で叫ぶでありましょう。」

この有名な言葉で始まる論文「合理的ロータリアニズム」はポール・ハリスによって書かれました。

このエッセイを書いたその時、国際ロータリー会長であったポールは、チェスリー・ペリー(初代事務総長)にガリ版でよいのでこのエッセイを印刷し

て、全米23クラブの2,000人のロータリアン全員に郵送するよう依頼しました。ペリーは資金のないことを指摘しましたが、その後、彼に名案が浮かびました。このエッセイをパンフレット形式に作り、新聞のように未使用のスペースに有料広告を掲載することにして、スポンサーを募ってはどうか？直ちに、実物大の見本を作り上げ、所属クラブの仲間に見せると、その中の数人が広告スペースを購入したいと申し出ました。

そして、1911年1月25日に機関紙「ザ・ナショナルロータリアン」創刊号はできあがり、全米23クラブに2,000部発送されました。全12ページでした。後に、『ザ・ロータリアン』と改名されます。

ちなみに、この印刷と発送すべてがわずか米貨25.44ドルの純費用で賄うことができたそうです。

機関紙の発行は決して順調に行ったわけではありません。1910年の大会で機関紙発行の提案がなされましたが、クラブの自立性が損なわれると否決されました。しかし、この『ザ・ナショナルロータリアン』の第一号が発行されると、雑誌をもっと送るようにとの要望が相次ぎ、再版2,000部が発行され、また、第二号の要望が多くありました。第二回大会への参加を促すために、1911年七月に二号を発行。そして1911年八月のポートランド大会で、全国誌を定期発行する案を全会一致で承認決議されました。ここに、ロータリーの雑誌が正式に生まれたわけですが、価格が年25セントと決められましたが、広告が120ドル集まり、第三号が1911年11月に発行しましたが、12月号は経済的理由で発行できず、1912年は1月と3月に発行。それ以降は毎月規則正しく発効され現在までつづくことになりました。なお、1912年六月に国際ロータリーが改組されそれに従い「ザ・ロータリアン」に改名されました。

これがロータリー雑誌の始まりで、ポール・ハリスの『合理的ロータリアニズム』がこの雑誌を生んだといえます。

今日、皆様にお配りした小冊子は、ロータリーの

友 2001 年 1 月、2 月号に掲載された『合理的ロータリアニズム』を再編集したものです。

ロータリーの特別月間の一つ「雑誌月間」ですが、その創刊日を記念して、1 月 25 日を含む 1 週間を雑誌週間としていましたが、1978 - 79 年度から雑誌週間は 4 月に移され、1983 - 84 年度に特別月間として、4 月がロータリー雑誌月間に指定され、それが現在までつづけられています。

『ロータリーの友』の誕生

その『THE NATIONAL ROTARIAN』発刊から約 40 年後の 1952 年 4 月に大阪市で開かれた地区大会で、そのころ日本全体が一つの地区で第 60 区でしたが、次年度（1952 - 53 年度）から日本が二つの地区に分割することが決まっております、二地区になってからも連絡を緊密にするための日本語による共通の機関紙の創刊が企画され、第 1 回準備会が大阪で開かれ、いろいろ論争があり、1952 年 8 月、岐阜で開催された第 2 回準備会で名称は『ロータリーの友』、横書きで創刊は 1953 年 1 月とする等、骨子がままりました。これが『ロータリーの友』の始まりです。

『ロータリーの友』は 1953 年 1 月から月刊、横組みで創刊されましたが、最初は自由購読で定価 50 円。当時は英和辞書を片手に英文の『ザ・ロータリアン』を購読していた会員が多く、多くの売れ残りが発生しました。その後、京都で開催されたロータリー 50 周年第 60 地区・61 地区連合大会で完全購読制が決議され、会員全員の購読雑誌となりました。

1962 年の 12 月まで定価は 100 円、その後、1974 年 12 月まで定価 110 円、そして、1975 年 1 月号から 200 円となり現在まで続いています。（本体価格 200 円、消費税 10 円）創刊当初は横書きではじまりましたが、いずれ縦書き、横書き混在となり、1972 年 1 月から現在の縦組みと横組みに分けた現在の形になりました。

公式地域雑誌に指定

ロータリーの正会員は RI の機関雑誌（『THE ROTARIAN』）または地域雑誌（RI 理事会承認）の有料購読者となり、会員であるかぎり購読を続けることが会員であることの条件となっています。

『ロータリーの友』は 1980 年 7 月号より日本のロータリーのための公式地域雑誌として、RI 理事会より指定されました。

地域雑誌として指定をうけるにはいくつかの条件があります。その一つに雑誌委員会による適切な監督を受け入れるという項目があります。「ロータリーの友委員会」は常任委員と各地区で任命された

ロータリーの友地区委員から構成されていますがこれが先の「雑誌委員会」にあたります。ロータリーの友地区委員は各地区ガバナーの代理として「ロータリーの友委員会」に参加しているわけです。つまり、地域雑誌である『ロータリーの友』は 34 地区ガバナーからの依頼を受け、管理監督されて発行している機関紙といえます。

地域雑誌のもう一つの条件として、編集内容は RI の方針に合致し、50%以上はロータリーあるいはロータリーと関連する記事でなければならないとあります。『ロータリーの友』には「横組み」では RI 会長メッセージや特集記事、RI の指定記事などが掲載され、「縦組み」ではロータリー・ネットワークなど日本地域のクラブやロータリアンの意見などロータリー情報が満載です。『ロータリーの友』はロータリーの情報誌であり、世界の、日本のロータリーの状況や活動などについての情報やロータリアンの思いを共有し、分かちあう場であります。特に、「縦組み」は各クラブやロータリアンからの投稿で構成されているコーナーが多くあります。

2660 地区の『ロータリーの友』

今年も 2660 地区の各クラブ、ロータリアンの皆さんからの投稿や記事が多く掲載されています。毎月、地区内のどこかのクラブが掲載されています。他地区と比べても多くの記事が掲載されているほうと思われます。

毎月、「ロータリーの友通信」として、地区内クラブに「ロータリーの友」誌の案内を送付していますが、その中の 2660 地区関係の掲載記事の紹介です。
(省略)

ロータリーの友ホームページについて

3 月末に「rotary-no-tomo.jp」から「rotary.or.jp」にアドレスが変わり、名称も「ロータリーの友」から「ロータリージャパン」に変わったホームページ（電子版ロータリーの友）ですが、これは毎月の書籍版の雑誌『ロータリーの友』を補完する立場であるといえます。書籍版は編修の都合上、二ヶ月前の情報ですが、電子版ではすぐ掲載できます。また文書の訂正も簡単でより正確な情報が提供できます。また書籍版より多くのデータが蓄積できます。ただ自分から見に行かねばなりません。それにくらべ書籍版は、定期的に同時に全ロータリアンに同じ情報が発信され、共有できます。それぞれ特性がありこちらだけではなく両方のご利用をお願いします。

以下、友のホームページの内容をご案内します。

友のトップ頁

ロータリーの友のトップ頁です。このページから各項目へ移動できます。

ロータリーの基礎知識

ロータリーの基礎知識を項目別に説明しています。「基本の樹」等の説明を一部修正して掲載されています。

ロータリー関連資料

会員数やR Iテーマなど各種ロータリーの資料が収録されています。

クラブ例会 地区のHP クラブのHP

各地区のクラブ例会の開催日や時間を知ることができます。地区別の例会一覧表が表示されます。

地区ホームページ、クラブホームページへのリンクも同様です。

国際ロータリーHP

国際ロータリーの各頁に直接アクセスできるようにリンクしています。

ロータリーの友

各月のロータリーの友の内容紹介。三年分を調べることができます。

このように有用な情報がいっぱいです。ぜひご利用ください。

雑誌委員会

この委員会は、ロータリアン誌に対する読者の関心を喚起し、雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎月雑誌の簡単な紹介を手配し、新会員の教化に雑誌を利用することを奨励し、ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈し、図書館、病院、学校、その他の図書閲覧室のために国際奉仕並びにその他の特別購読を取り計らい、ニュース資料と写真を雑誌編集者に送り、その他あらゆる方法によって、雑誌を本クラブ会員およびロータリアン以外の人々に役立てるものとする。(手続要覧 2004)

『ロータリー雑誌月間』

『ロータリー雑誌月間』、この機会に『ロータリーの友』書籍版、電子版をもう一度開いてご覧ください。新たな発見がきっと得られます。

地区ホームページについて

最後に、地区ホームページの紹介させていただきます。

今年の 2660 地区のホームページは岩田ガバナーの情報の共有という思いを受け、情報の交流の場を

作ろうということで、地区ホームページの充実を図りました。

今月のトップページ

地区のホームページは月ごとのトップページを作成しています。このトップページからその月のトピックへとリンクするようにしています。

実際のトップページを紹介します。

ロータリー章典

3月から皆さんにご紹介している新しいコンテンツをごらんください。

ロータリー電子文庫

続いてご紹介するのは「ロータリー電子文庫」です。皆さんにお読みいただきたい、ロータリーの歴史的書籍や地区委員会、クラブ、ロータリアンの作成したロータリー書籍を PC 上で容易に読めるように作成した電子ブックです。

続々と刊行される電子文庫

4月現在、「職業奉仕のお話」、「むつかしくはないボケーショナル・サービス」、「ロータリーの創設者 ポール・ハリス」が発行済。「Rotary って何ですか?」と「合理的ロータリアニズム」は近々に発行。その他数点を発行予定です。

ニコニコ箱

ロータリーの友地区委員木村様より卓話お礼をニコニコに頂きました

ロータリーの友地区委員木村様、卓話を有難うございました

中西、樋口、三好、多田
多田さんお土産ありがとう

秋山、笠原、
掛谷、簡、三好、中西、野田、大森、朱

早退お詫び

笠原

戸川会員写真ありがとう

秋山、簡、大森、中西、野田

本日計 34,000円

累計 1,777,722円

次回卓話

「新入会員自己紹介」

樋口淳一 会員